

# 初夏を告げる昔ながらの懐かしい味わい！「甘夏」<sup>あまなつ</sup>



## 1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	3月上旬から6月中旬まで
特長	爽やかな味わいと歯ごたえのある果肉で、サイズも大きく食べ応えも十分です。昔ながらの酸味の強い品種ですが、初夏を告げる昔ながらの懐かしい柑橘としてオールドファンも少なくありません。
備考	甘夏には、 <sup>かわの なつだいだい</sup> 「川野夏 橙」、 <sup>しんあまなつ</sup> 「新甘夏」などの品種があり、特に「新甘夏」については“サンフルーツ”や“ニューセブン”などの商品名で販売されることがあります。愛媛県は熊本県に次ぐ甘夏の産地です（平成20年産）。

## 2. 果実の食べやすさ

果皮	1：手で簡単にむけます。 2：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③： <u>手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。</u>
袋	1：薄く、食べてもほとんど気になりません。 2：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③： <u>厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。</u>
種	1：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②： <u>あります。</u>

## 3. 来歴

- （1）「川野夏橙」<sup>なつだいだい</sup>（いわゆる甘夏）は、1935年頃に大分県津久見市の川野豊氏の園地で発見された「夏橙」<sup>なつだいだい</sup>（いわゆる夏みかん）の枝変わり品種です。
- （2）「新甘夏」は、1962年に熊本県田浦町（現：芦北町）の山崎寅次氏の園地で発見された「川野夏橙」の枝変わり品種です。